

JR 長森駅周辺整備に関する対市要望活動（概要）

<要望日時> 令和元年6月27日（木）午前11時25分～55分

<要望場所> 岐阜市役所市長室

<出席者> 市側 柴橋市長・太田都市建設部長・林都市建設課長 他2名

地元側 小木曾(長森南)・平工(長森北)・平光(長森東) 3地区連合会長 他2名

*澤田(長森西)連合会長は身内のご不幸により欠席

仲介 柳原市議会議員

<要望書提出目的> 柴橋岐阜市長に対し、東西南北の4自治会連合会長による連名で、JR高山本線長森駅周辺の整備、開発に関する要望書を提出し、地域の期する点を口頭補足説明するため。

<要望概要>

- 市の南東部に位置する長森地区は、市中心部や各務原市、岐南町に隣接し交通至便の地であるにも関わらず、長期間開発（宅地化）等が出来ない状況下におかれている。市街化エリアに囲まれた地域でありながら、古い時代の都市計画区域設定が見直されていない市街化調整区域が地域の中心部に位置し、宅地化等一連の開発行為が制限を受けているのである。従って住宅戸数や児童数等減少傾向となっている現状を改善するためにも、是非とも当該地区の市街化調整区域の見直しをお願いしたい。
- 長森駅は地域活性化においては投資戦略のポイントであるにも関わらず、駅に繋がる道路は狭く、駐車場、トイレ、ごみ箱等も一切無く、増加する乗降客に対する利便性が著しく低い。従ってJRへの折衝も併せて対応して欲しい。
- 駅北側は、富田学園等の生徒の通学路になっているが、歩道の区画、街路灯もない農道で、交通安全や防犯面において問題である。（現状は学園側が独自に民間警備に依頼している）

<市長、担当部署と連合会長との共通認識>

- 長森地区は市中心部、各務原市双方の至近距離にあって極めて利便性の高い地域であり、もっと発展（市街化、人口増）して然るべきところである。
- 名鉄本線高架化事業が推進され、道路網の整備が図られる中、当該地区が農地（水田）のまま今後推移することは不自然かつもったいない。

<市長（岐阜市）>の見解

- 申し入れ趣旨は岐阜市としても共通認識で、駅周辺整備や開発事業の必要性は十分理解する。
- 地域活性化のための戦略的投資として、当然ながら利便性の高い地域から優先して取り組む。その意味で長森地区は最優先地区として諸対応に当たる。
- 2021年の新庁舎開庁、22年の高島屋南地区再開発と岐阜市はこれから数年間、飛躍の足跡が見られると思うが、同時期にしっかりと街づくりに投資していく必要は認識しているので、今回の要望活動は地域の代表及び住民の総意として真摯に受け止め対応していく。